

1 県の取組み状況(令和6年度)について

(4) 県民の命、健康、安全・安心を守る

<(施策1)「緑の流域治水」を核とした創造的復興、(施策2)災害に強い県土づくり>



「緑の流域治水」の更なる推進

【目的】 球磨川流域の再生・発展

【概要】

- ◆流域住民等に対して事業の内容・進捗状況や理解促進に向けた取組み(「ダムの事業の方向性・進捗を確認する仕組み」第3回会議開催(R6.12.7)他)
- ◆被災地域の復興まちづくりと集落再生に向け、技術的助言や球磨川流域復興基金等による支援。
- ◆青井被災市街地復興土地区画整理事業について、令和6年11月までに、全107画地の仮換地指定を完了。
- ◆災害公営住宅について、市町村への技術支援を実施し、令和6年度末までに全12地区・282戸のうち、11地区・272戸が完成。
- ◆万江川流域の土砂・洪水氾濫対策について、令和6年5月に既設砂防えん堤の除石工事が完了。



▲「ダムの事業の方向性・進捗を確認する仕組み」第3回会議 (R6.12.7)



▲人吉市東校区災害公営住宅落成式(R7.2.28)

五木・相良村の振興

【目的】

五木村・相良村の着実な振興

【概要】

- ◆「“ひかり輝く”新たな五木村振興計画の一部改訂等に関する確認式」を実施(R6.7)。
- ◆「令和6年度五木村の振興を確認する場」を開催し、国・県・村で進捗及び令和7年度実施計画を確認(R7.3)。
- ◆「くまもと新時代共創基本方針」に、相良村の振興が位置づけられたことを受け、知事を本部長とする相良村振興推進本部へ推進体制を見直し。
- ◆「相良村振興推進本部」を開催し、令和6年度取組実績及び令和7年度取組みを各部局で確認・共有(R7.2)。

防災力・災害対応力の強化

【目的】 防災力・災害対応力強化、各種施設等機能強化

【概要】

- ◆能登半島地震の教訓を踏まえ、天草・水俣地域の孤立を想定した総合防災訓練を実施。(R6.10, R6.12)
- ◆警察、自衛隊、八代市等による合同救出救助訓練を実施。(R7.2)
- ◆消防学校本館と寄宿舍等の建て替えに向けた実施設計。
- ◆消防学校の教育訓練の中期見通しを示した、熊本県消防学校中期運営計画を策定。



▲総合防災訓練の様子

1 県の取組み状況(令和6年度)について

(4) 県民の命、健康、安全・安心を守る

<(施策3)健康で長寿な社会の実現、(施策4)安全・安心の地域づくり、(施策5)水俣病問題への対応>



人生100年時代の充実に向けた体制づくり

【目的】 医療・福祉・介護職員の人材確保・育成と
医療・介護提供体制の確保

【概要】

- ◆医師修学資金貸与制度や中高生に対する看護の魅力等の発信。
- ◆福祉人材・研修センターと連携した資格取得支援や外国人への日本語学習支援等。
- ◆介護・医療現場の従事者を対象とした在宅医療に係る研修会等。
- ◆県看護協会と連携した訪問看護提供体制の強化。
- ◆介護現場の業務効率化等の取組みをワンストップで支援する相談窓口の設置(令和7年4月)に向け各種調整を実施。



▲高校生の一日看護体験

高齢者の就労機会の拡大

【目的】 高齢者が能力を発揮し、社会で活躍できる環境整備

【概要】

- ◆高齢者雇用を考えている県内企業を対象にセミナーを開催(参加:34社)。

消費者被害の未然防止

【目的】 第4次消費者基本計画に基づいた取組の推進

【概要】

- ◆消費生活出前講座を実施(77件、3,921名受講)。
- ◆県消費生活センターにおける令和6年度の救済額は1億1,800万円。

「良好な治安」の維持

【目的】 ・防犯対策、県民生活を脅かす犯罪の取締り
・交通安全意識の普及啓発

【概要】

- ◆「闇バイト」緊急対策として、全ての全日制高校において非行防止教室を開催。
- ◆「電話で『お金』詐欺」等の各種詐欺被害防止のため、SNSなどを利用した広報啓発活動を推進。
- ◆サイバー犯罪の取締りや犯罪組織の実態解明、情報分析に必要な資機材の整備。
- ◆登下校時の見守り活動(1,074か所)。各種シミュレータを活用した交通安全教室の実施(300回)。



▲闇バイト対策



▲各種詐欺防止の呼びかけ



▲交通安全教育

水俣病問題への対応

【目的】 患者等の支援と水俣・芦北地域の振興

【概要】

- ◆胎児性患者等の日常生活の支援に係る自己負担の見直し、小中高校生や教職員等に対する啓発の実施。
- ◆さかなクンとタイアップした不知火海の魅力発信及び地域の環境資源を発展的に活用する市町事業への補助。